

# 16. カインの性格

世の中で自分の性格が完璧だと思っている人はいない。満足していると成長しない。自分に足りないものがあると痛感したとき、直そうとする。いいものを見て学ばないといけない。神様の目から見ていいのか。

Rも御言葉を伝えながら聞いている。人間○△□が必要。神様との関係に偽りを持つ必要は無い。

カインの性格は心の次元で、聖書でなくても学べるのではないかと思うが、霊と心は密接に関係しており、種蒔きの比喻〈マタイ 13 : 1~13〉であるように、心の畑を耕さないと霊が育っていかないし、根がしっかり張らないので必要。実を結ぶか否はその人の行い次第。カインの性格は、生活の中で生えてしまった雑草を引き抜く作業。〈創世記 4 : 10~12〉

カインの性格を聞いて、痛いと思うことは生きている証拠。死んでいると痛みを感じない。

## 1.血気盛ん

〈創世記 4 : 5〉 p.4 〈エペソ人への手紙 4 : 26~27〉 p.306

## 2.高慢・驕り高ぶる

〈ヤコブの手紙 4 : 6〉 p.363 〈詩篇 18 : 27〉 p.761

## 3.無知

〈エペソ人への手紙 5 : 15~17〉 p.306 〈コリント人への第一の手紙 2 : 8〉 p.258

## 4.強いる

ペテロの第二の手紙 3 : 16

自分勝手に解釈しては×

コリント第二 9 : 7

信仰は強制するのではない。義務感で愛すか。愛する心があって愛せる。

## 5.嘘・偽る

## 6.愚か

## 7.ねたむ・嫉妬

## 8.人殺し

〈出エジプト記 20 : 13〉

→モーセの十戒

〈マタイによる福音書 19 : 18〉 〈ヨハネによる第一の手紙 3 : 15〉

→憎んだら人殺し

## 9.偽善・形式主義

〈マタイによる福音書 6 : 1~8〉 〈マタイによる福音書 15 : 1~20〉 〈マルコによる福音書 12 : 38〉

→神様ではなく人間を意識している。神様が心から抜けると形式主義になる。賛美やお祈り、聖書を読むことも神様を知るために。

## 10.無視・軽んじる

〈ヨハネによる福音書 8 : 49〉 〈ルカによる福音書 10 : 30~37〉

→電車で転がっている空き缶をどうするか。神様から見たらどうか？

## 11.憎む

〈箴言 10 : 12〉

## 12.争う

〈箴言 10 : 12〉 〈ローマ人への手紙 1 : 29~32〉

## 13.無節制

〈テモテへの第二の手紙 3 : 1~7〉

→自分を治められない状態。

#### 14.無情

〈ヨブ記 6 : 14〉

→イエスは人々を救うために十字架にかかった。神様の情もわからないと。愛をもらった人は愛を与えられる。

#### 15.逆らう、背く

〈テモテへの第二の手紙 3 : 1~7〉

→『無知』でもあったが、ヨシア王は神様に逆らうつもりはなかったが無知のせいで結果的に逆らった。

詩篇 78 : 40

#### 16.呪う

〈伝道の書 10 : 20〉

#### 17.つぶやく（文句を言う）

〈民数記 11 : 4~6〉

→〈民数記 11 : 18~20〉のように神様は憤った。

〈民数記 14 : 26〉 〈民数記 14 : 36~38〉

→感謝すると文句が出ない。

#### 18.裁く（自分勝手に判断する）

〈マタイによる福音書 7 : 1~5〉 〈ローマ人への手紙 2 : 1~3〉

〈コリント人への第一の手紙 4 : 5〉

→自分が裁かなくても裁く人が現れる

#### 19.批評する

〈ローマ人への手紙 14 : 1~8〉

→

#### 20.悪く言いふらす

〈民数記 13 : 31~33〉 p.204

→モーセがカナンに 12 人の偵察隊を送ったシーン。12 人のうち 10 人が悪く言いふらした。善評したヨシュアとカレブだけはカナンに入れた。

#### 21.訴える

→イエスやパウロは訴えられた。

#### 22.恐れさせる

〈エレミヤ書 17 : 17〉 p.1076

→サタンの業。

〈箴言 1 : 7〉

→これは神様に対する畏怖の念。

#### 23.不従順

〈サムエル記上 15 : 22〉 p.404

→はとを捧げるのは純潔、牛は忠誠、羊は従順を象徴する。

サウル王は不従順になってしまった。

#### 24.詐欺

〈創世記 3 : 13〉 p.3

→墮落の話。騙すのはサタンの業。騙されるほうも隙があったので責任がある。キリストをパンツのようにはきなさい。

〈ヨシュア記 7 : 1~10〉

アカン（=ヘブライ語で心情をいためる種という意味）は罪を犯した。

## 25.淫行・姦淫・不品行

〈マタイによる福音書 5 : 27〉

神様が最も嫌うことは、霊的には偶像崇拜、肉的には姦淫。どちらも一筋ではない。

ある男の人が、女の人を喜ばせようとしてバッグを買ってあげたら、バッグは愛するが、その男はほったらかし状態。

神様の要求する愛のレベルが上がっている。

## 26.党派心

〈ガラテヤ人への手紙 5 : 19〉 p.298

→イエスの弟子たちも誰が一番偉いかを論じ合った。神様は個性で創造したから、誰が一番でもない。

## 27.讒言（ざんげん／中傷する言葉）・陰口

→人に悪くする人は悪く返される。

〈エレミヤ書 5 : 14〉 p.1053

人を悪く言うと裁く。

## 28.食欲

〈ヤコブの手紙 1 : 15〉 p.360 〈ペテロ第二の手紙 2 : 14〉

神様につながる食欲さは必要。

## 29.口先だけで行いのない信仰

〈ヨハネ第一の手紙 3 : 18〉 〈ヤコブの手紙 2 : 26〉

→行いの時代。Rはひたすら実践だと。昔家を作ったとき、縁を造らないで30年間苦勞した。いきなり成長の飛躍はないから、心に正直に。

## 30.虚栄心

〈創世記 19 : 26〉

→アブラハムの甥ロトの町が裁かれ、ロトの妻が後ろを振り向いてしまった。彼女はいつも後ろを振りかえった人。人の前でよく見せたいという気持ち。

## 31.利己主義

〈コリント人への第一の手紙 13 : 4~5〉 p.271

→愛の章。自分の利益を求めない。

天国は神様と人間がお互いのために働く世界。神様は肉体が無いから地上で天国は成せない。

神様に仕えなさいというのが、僕ではなく主人だからもてなす。

## 32.疑い

〈マルコによる福音書 11 : 23〉 p.71

→固定観念の強い山のような人でもイエスの御言葉に聞き従った。信仰は神様と人間の信頼関係の回復。でも神様と人間の考えはかけ離れている。

〈マタイによる福音書 14 : 22~33〉 p.23

→弟子たちだけでいるとき、世の中の波風を恐れた。ペテロが賢かった点は、イエスに叱られはしたが助けを求めて叫んだこと。浅瀬だった。

## 33.安楽・怠け・怠り

〈箴言 6 : 6~11〉 p.856

→信仰的な眠りは信仰的目覚ましのイエスにしか起こしてもらえなかったが、ユダヤ人はその目覚まし。

怠け者はやるべきことをやらない。優先順位を間違えること。優先順位とは先ず神の国とその義を求めること。神様のことを知ること。

## 35.偶像崇拜

〈出エジプト記 20 : 1~4〉 p.102

アダムとエバは神様の愛の対象ではなくサタンの愛の対象になってしまった。神様以上に中心とするものが偶像。自分自身が偶像になる場合もある。使命も神様に栄光を帰すことが目的だが、それ無しにやると偶像になってしまう。

### 36.酔っ払う

〈エペソ人への手紙 5 : 15〉

酒に酔うと心がコントロールできなくなる。そして霊魂も酔う。料理酒はいい。

### 37.感謝しない 不平不満

〈ヤコブの手紙 5 : 9〉 p.364

不平不満からすべての問題が生じる。モーセの時のイスラエル民族も不平不満を言ってカナンに入れなかった。価値をわからない、御心がわからないから不平不満を言う。与えられた環境に感謝しないとイケない。

### 38.二心

ヤコブの手紙 3 : 10

神様がいるのにサタンを愛する

### 39.敬虔なふり

マタイによる福音書 23

外見は立派だが、内面が伴っていないと×。真心のある、実のある人に。

### 40. 限度を超えて誇る

コリント人への第二の手紙 10 : 13

### 41 : 無視・無関心

マタイによる福音書 22 : 1~24

### 42.自暴自棄

ガラテヤ人への手紙 6 : 9

自暴自棄は本人の責任分担だから、神様も働きようが無くなる。自暴自棄したら自分の 10%をサタンに奪われる。

### 43.物質主義

ルカによる福音書 11 : 42

10分の1は神様のもの。

テモテへの第二の手紙 II 6 : 9~10

### 44.アベルが話しているのを聞かない

サムエル記 15 : 22~23

御言葉に聞き従うことを喜ばれる。カインはアベルを通して捧げ物を捧げるべきだった。

### 45.真理ではないことを言張する

マタイによる福音書 15 : 7~9

自分の考えで語るのは真理ではない。

ヨハネによる福音書 8 : 44

### 46.栄光には七面鳥、犠牲には泥亀（名誉を好み犠牲を嫌がる）

マタイによる福音書 20 : 20~23

母親は杯を文字通りとらえていたが、ここでは杯=十字架という意味。イエスにいい時はついて行って、苦難が来たら離れるというのは恋人ではない。大変なときがチャンス。もがきを共にする人を天は求める。

### 47.報告生活をしない

サムエル記上 15 : 4~16

サウルはサムエルに相談せず、勝手に分捕り、戦勝記念碑を建てたりした。天に報告相談しない=自分中心で、相談しないことは天が責任を取れない。

### 48.汚名を着せる

創世記 39 : 6~19

ヨセフはポテパルの妻に言い寄られたとき、断り、着物をはがれて、ヨセフが襲ったと汚名を着せられた。

## マタイによる福音書 27 : 27~37

十字架は極刑で、その十字架を背負わせ、皮肉って嘲笑って秩序を乱す悪人扱いした。自分たちの悪を隠すためにイエスを殺した。

アダムは墮落した時、エバが…といい、エバはあの蛇が…と罪を悔い改めず、なすりつけようとした。

## 49. 忠誠を尽くさない

### マタイによる福音書 25 : 14~30

一タラントを預かった人が忠誠を尽くさなかった。タラントの量が問題ではなかった。使命を任されても忠誠を尽くさないと奪われる。

黙示録 2 : 10

## 50. 責任分担を果たさない

### マタイによる福音書 23 : 37~39、7 : 7~11

責任分担は神様がこの世に遣わした方を受け入れ、その御言葉に聞き従うこと。

## 51. 裏切る

### マタイによる福音書 26 : 20~25

Rは霊界でユダに会い、どのようなことがあっても振り返ってはならないと。振り返るとは神様から顔を背け世の中に向くこと。

テモテへの第二の手紙 3 : 4

## 52. アベルの心を傷つけて一言も謝らない

### 使徒行伝 7 : 51~53

間違いを犯して心情を傷つけたら悔い改めないといけない

## 53. 後悔する

### マタイによる福音書 27 : 1~10

ユダはイエスを裏切ったことに後悔して自殺した。やるべき時にできないと後悔する。神様の御心から外れてうまくいかないとき後悔する。

民数記 23 : 19

## 54. 主に油注がれた方に逆らう

### 詩篇 2 : 2~4

異端視したり御言葉に反発する。結局天が勝つ。イエスも異邦を中心に勝利した。

### エペソ人への手紙 4 : 14~15

カインの性格を無くし、キリストのように完全に。そのためには神様を中心として御言葉を守ったときできる。

その他

虐げる 〈詩篇 107 : 37~40〉

騒ぐ 〈エペソ 4 : 31〉

異端 〈使徒 24 : 5〉

あざける 〈箴言 19 : 29〉

権威・権力 〈ローマ 13 : 1~2〉

偉ぶる 〈ルカ 14 : 7~11〉

番外編

約束を守らない 〈マタイ 5 : 3〉